

H36

5.8B-2(3)

北京大学东方语言文学系日语教研室编

第三册

基础日语

商务印书馆

北京大学东方语言文学系
日语教研室编

基
础
日
语
第三册

商务印书馆

本教科书供高等院校日语专业二年级上学期使用。

本教科书主要编写人为孙宗光，参加编写工作的有徐昌华和于荣胜。

本教科书在一九八三年四月二十日至二十八日广州召开的全国外语教材编审委员会日语组审稿会上一致通过为推荐教材。主审人为南开大学孙莲贵副教授（编审委员），参加审稿的有北京外国语学院副教授甘莹（编审委员）、孙小兰（北京师范大学）、裴裕龙（新乡师范学院）等。

曾在北京大学任教的日本专家鸟井克之先生参加了部分编写工作。

JĪ CHŪ RĪ YŪ

基础日语

第三册

北京大学东方语言文

学系日语教研室编

商务印书馆出版

（北京王府井大街36号）

新华书店北京发行所发行

河北香河安平印刷厂印刷

统一书号：9017·1437

1985年8月第1版

开本 850×1168 1/32

1985年8月北京第1次印刷

字数 281千

印数 6,700册

印张 12 1/4

60克纸本定价：2.25元

编者说明

《基础日语》第三册共分十五课。每课均由课文、词汇、语法、句型、常用语句、练习等六个部分组成，它们互相照应、互相配合，重点复现，形成一个整体。

(一) 课文

课文的题材比较广泛，文体多样，除三篇是译文外其他十二篇均为原文，注意使学生尽快接触原文，摆脱汉语的影响。

(二) 词汇

第三册课文生词有一一〇一个，补充生词有四一一个。列入生词表里的，不只限于词，一部分词组、句子、甚至某些语法词也作为生词处理。每一课设构词法(語構成)一栏，说明词汇的结构。

(三) 语法

在第三册语法里主要讲授副助词、终助词、指示词和形式体言，对其他各类助词、助动词的用法作了补充和扩展，对敬语进行了初步整理，对句子的分析作了初步的介绍。

(四) 句型

第三册共出句型七十三个(包括非基本句型)，对每一个句型的结构、接续法、意义和译法作了简要的说明，并附上了例句。

(五) 常用语句

选择惯用型、常见的词的搭配、谚语、典故、习惯用法等，作了简要的结构分析并对其意义及译法作了说明。

(六) 练习

编者参考了国内外出版的一些日语教材，充实了练习部分。练习的目的在于使学生巩固和熟练运用所学的语言知识，并加以扩展。因此，必要时也出现一些生词和习惯用法，但不涉及新的语法现象。

练习分口头和笔头两个部分。我们安排了较大的练习量，供任课教师根据学时和需要选用和学课外自习。一般口头练习在课堂进行，笔头练习可留做课外作业，在课堂只作检查即可。

第三册适当的增加了翻译练习，目的在于使学生以汉日对比的方法认识各种文体的文章特点，并通过它更准确地掌握日语，但有别于翻译课的练习。

在编写本教科书的过程中，我们得到了各兄弟院校日语教研室以及本校许多同志们热情帮助。在此表示衷心的感谢。

由于编者水平有限，缺点和错误在所难免，敬希读者批评指正。

北京大学东语系日语教研室

一九八四年二月

目録

第一課	一
本文：日本の水資源	二
新しい単語	四
文法	六
練習	一五
第二課	二七
本文：馬宿の話	二八
新しい単語	三一
文法	三四
練習	四七
第三課	六一
本文：方言と共通語	六二
新しい単語	六五
文法	六六
練習	七七

第四課	八九
本文：東郭先生と狼	九〇
新しい単語	九三
文法	九五
練習	一〇二
第五課	一一二
本文：竹取り物語	一一二
新しい単語	一一五
文法	一一八
練習	一二五
第六課	一三三
本文：四季(1)	一三四
新しい単語	一三五
文法	一三七
練習	一四四
第七課	一五四
本文：營養と水産	一五五

新しい単語	一五八
文法	一六〇
練習	一六八
第八課	一八〇
本文：話しことばと書きことば	一八一
新しい単語	一八五
文法	一八七
練習	一九三
第九課	二〇四
本文：キュリー夫人(上)	二〇五
新しい単語	二一〇
文法	二一三
練習	二二三
第十課	二二三
本文：キュリー夫人(下)	二三三
新しい単語	二三七
文法	二四一

練習	二五〇
第十一課	二六〇
本文：乗り物と色	二六〇
新しい単語	二六三
文法	二六五
練習	二七四
第十二課	二八四
本文：一飛び	二八五
新しい単語	二八七
文法	二九〇
練習	三〇一
第十三課	三一一
本文：にれの町	三一一
新しい単語	三一六
文法	三一八
練習	三二七
第十四課	三三五

本文：かくれんぼう	三三五
新しい単語	三三八
文法	三四〇
練習	三四八
第十五課	三五九
本文：故郷	三五九
新しい単語	三六二
文法	三六四
練習	三七〇

第一課

文 日本の水資源

文法

句型

- 一、副助詞「くらい」「ぐらい」②
- 二、格助詞「で」与提示助詞「も」的重叠
- 一、くと言われている
- 二、くはずは(が)ない
- 三、くではないか(じゃないか)
- 四、くとして(は)
- 五、くに対し(て)
- 六、くを通じて
- 七、くこと(の)はくからである
- 八、くにつれて

語構成

日本語の知識

常用語句

練習

口頭練習
筆答練習

日本の水資源

高橋浩一郎

日本は雨の多い国だと言われている。確かにその通りである。日本の一年の総降水量を調べてみると、年により場所により違うが、大体は一六〇〇ミリである。これは、全世界の平均の八〇〇ミリに比べると、二倍にもなっているのである。

ところが、ある人に言わせると、日本の水は少ないと言う。ちょっと聞くと、きつねにつままれた様である。そんなはずはない。毎年水害で痛めつけられる位降っているではないか、と思う人が多いだろう。そこで、少ないと言う人の話を聞いてみよう。

なるほど日本の雨量は多い。昔から金づかいのあらいことを湯水のように使うと言っている様に、水は豊富である。しかし、人口が増加し、産業の開発が進むにつれて、水は多いとは言えなくなって来た。たとえば、東京では水不足で騒いでいる。そして、全国の降水量を人口割りにすると、諸外国に比べ、むしろ少ない方に属すると言うのである。

そう言われればそうである。すなわち、ブラジルは、年降水量は一五九〇ミリで、一人当たり二万トンの雨が降る。ところが、日本では、降水量は一六二〇ミリで、ブラジルより多いが、国土が狭く、人口が多いので、一人当たりでは六六六〇トンにしかならない。一人当たりの雨量は、アメ

リカは日本の六倍、中国は一倍半で、日本は少ない方にはいるのである。

もちろん、水資源としては、降る雨の量だけでその価値を評価することは出来ない。日本は山が多いので、山に降った雨はポテンシャルが高く、水力発電として重要なエネルギー源となっている。また、大陸だと蒸発が盛んなため、そのまま水蒸気の形になって大気中に戻るものが多く、たとえば、アフリカ大陸のナイル河では、海に出て来る水は、流域に降った降水量のわずか三パーセント程度である。これに対し、日本の河川は短く、降った雨の七〇ないし八〇パーセントがそのまま川となって海に出るので、利用の仕方によっては効率が良いわけである。また、地域により違うので、一概には言えないが、年々の降水量の変動は、諸外国に比べ小さく、また、一年を通じての季節の変動も割合小さい。また、水の需要の大きな夏に降るので、水は利用しやすいなどの利点があるのである。

日本の水は、この様に、人口割りにすれば少ない方の部にはいるが、面積当たりでは多い方であり、不断その有り難味を感じないが、諸外国に行ってみると恵まれていることを痛感するのである。そして、日本の人口が多いことは、雨の例でも分かる様に、一つは気候的に恵まれているからであって、もし気候が悪かったならば、現在の人口はとうてい養えないであろう。

日本に雨が多いのは、気象学的に見れば、日本が大陸と海洋の境にあり、大陸の気団と海洋の気団の境の前線帯にあるからである。このため、低気圧は日本列島にそって通りやすく、雨もよく降るのである。低気圧の発生しやすいのは、日本海の北西部、東中国海、四国沖、三陸沖などである。

本邦のはるか南東の沖合いには、ほとんど低気圧が現われず、また、黒龍江流域にも強い低気圧は現われない。そして、低気圧は、東中国海から東北東に進み、三陸沖を北東に進む経路と、黄河下流域から日本海北西部を通り、津軽海峡や宗谷海峡を経て東北東に進む経路をとることが比較的多く、日本列島の陸地は避けて通る傾向がかなりはつきりと見られる。これらの事は、日本の天気を理解する際の一つの重要な点である。

「日本の天気」(岩波新書)による

〔新しい単語〕

水資源(みずしげん)〔名〕水資源、水利能源

たしかに(確かに)〔副〕的确、确实、肯定

調べる(しらべる)〔他下一〕調査、検査

総降水量(そうこうすいりょう)〔名〕总降水量

ところが〔接〕可是、不过、然而

ミリ(milli)〔量〕厘米

平均(へいきん)〔名・他サ〕平均

言わせる(いわせる)〔动〕「言う」的使役态、让……说

水害(すいがい)〔名〕水灾

痛めつける(いためつける)〔他下一〕折磨、受害、给以严

重打击

そこで〔接〕因此、所以、那么

なるほど〔副〕果然、的确、对、不错

金づかい(かね遣い)〔名〕花钱

あらい(荒い)〔形〕粗暴、猛烈、乱……

金づかい(あら)い〔句〕乱花钱、大手大脚

湯水(ゆみず)〔名〕开水和冷水、水

増加(そうか)〔名・自他サ〕增加、增多

開発(かいはつ)〔名・他サ〕开发,发展

水不足(みずぶそく)〔名〕供水不足,缺水,旱

騒ぐ(さわぐ)〔自五〕吵闹,骚动

諸外国(しょがいこく)〔名〕其他国家,各国

むしろ〔副〕倒不如,反而,更

すなわち(即ち)〔接〕即,也就是

ブラジル(Brazil)〔名〕巴西

雨量(うりょう)〔名〕降雨量

価値(かち)〔名〕价值

評価(ひょうか)〔名・他サ〕认定,决定,评论

ポテンシャル(Potential)〔名〕潜力,可能性

水力発電(すいりょくはつでん)〔名〕水力发电

エネルギー源(Energieげん)〔名〕能源

蒸発(じょうはつ)〔名・自サ〕蒸发,挥发

水蒸気(すいじょうき)〔名〕水蒸气

形(かたち)〔名〕形状,形式

大気(たいき)〔名〕大气

アフリカ(Africa)〔名〕非洲

ナイル河(Nileがわ)〔名〕尼罗河

流域(りゅういき)〔名〕流域

わずか〔副・形动〕仅仅,少量,不过

程度(ていど)〔名〕程度,上下,左右

仕方(しかた)〔名〕方法,手法,办法

河川(かせん)〔名〕河流

効率(こうりつ)〔名〕效率

わけ(訳)〔名〕道理,理由

年年(ねんねん,としとし)〔名〕每年,各年

変動(へんどう)〔名・自サ〕变动,变化

割合(わりあい)〔副〕比较,相对

需要(じゅよう)〔名〕需求,需要

利点(りてん)〔名〕优点,好处,有利的一面

部に入る(ぶにはいる)〔组〕属于……类

不断(ふだん)〔副〕平时,普通,不断

有り難味(ありがたみ)〔名〕好处,恩惠,价值

恵まれる(めぐまれる)〔自一〕受惠,优越,良好,幸亏

痛感(つうかん)〔名・他サ〕深深感到,深刻认识,痛感

例(れい)〔名〕例子

気候的に(きこうてきに)〔副〕从气候方面说

どうてい〔副〕(和否定性谓语句呼应)怎么也

養う(やしなう)〔他五〕养活,培养,养育

气象学的(きししょうがくてき)「形动」气象学方面

海洋(かいよう)「名」海洋

境(さかい)「名」交界,分界处

気団(きだん)「名」大气团

前線帯(ぜんせんたい)「名」锋面

低気圧(ていきあつ)「名」低气压,低压

発生(はっせい)「名・自サ」发生,产生

そう(沿う)「自五」沿着

通る(とおる)「自五」通过,经过

日本海(にほんかい)「名」日本海

北西部(ほくせいぶ)「名」西北部

東中国海(ひがしちゅうごくかい)「名」东中国海

四国沖(しこくおき)「名」四国海面

三陸沖(さんりくおき)「名」三陆海面(日本东北地方

太平洋海面)

本邦(ほんぱう)「名」我国,本国

はるか(遙か)「名・形动」遥远,远远,远离

南東(なんとう)「名」东南

沖合い(おきあい)「名」海面

黒龍江(こくりゅうこう)「名」黑龙江

東北東(とうほくとう)「名」东北偏东

北東(ほくとう)「名」东北

比較的(ひかくてき)「副」比较

経路(けいろ)「名」途径,过程,路线

黄河(こうが)「名」黄河

避ける(さける)「他下一」避开,躲避

傾向(けいこう)「名」倾向,习惯

際(さい)「名」时候,之际

津軽海峡(つがるかいきょう)「名」津轻海峡

宗谷海峡(そうやかいきょう)「名」宗谷海峡

〔文法〕

一、副助词「くらい」(「ぐらい」)②

「くらい」除了表示大致的数量外,还可以接在各种词后面表示他所达到的程度。

例：

日本では毎年水害で痛めつけられる位降っている。

ぼくでもそれくらいの事は知っている。

長男ももう一人で歩くくらいに成長した。

息がつまるくらい緊張した。

二、格助詞「で」与提示助詞「も」的重叠

格助詞「で」可以与提示助詞「も」、「は」等重叠使用。这个重叠起来的助詞「でも」，既包含「で」原有的某些意义，又带有「も」所包含的「也」的语气。

例：

その話は友人のところでも聞きました。

わたしたちの村でもトラクターを買った。

日本の人口が多いことは、雨の例でも分かる様に、一つは氣候的に恵まれているからである。

注：以下的「でも」并不是「で」与「も」的重叠，意义也不相同，应加以区别，

例：

何回読んでもわからない。

（接续助詞「でも」）

小学生でもわかることだ。

（提示助詞「でも」）